

第5学年1組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成26年6月11日（水） 13:40～14:25 5年1組 教室

2. 議題名 「5年1組 団結集会をしよう」

3. 議題について

子どもの実態

男子17名、女子16名、計33名の学級である。学級は、日々明るい雰囲気にも包まれている。児童は、一人一人個性が強く、また自分を表現している児童が多い。

学級の実態としては大きく2つに分かれる。一部の児童は自分の意見を持ち、それを発信することができている。しかし自分の思いや考えを主張しすぎてしまい、相手の思いをくみ取れないこともあった。それ以外の児童は、学年の実態にもあるように、自分の考えがもてなかったり、伝える意欲がなかったりする児童がいる。

教師の思いとめざす子どもの姿

4月当初、5年1組をどんなクラスにしたいか投げかけ、全員の思いをまとめ、学級目標が「心を一つに 一歩前進 元気いっぱいスマイルいっぱいチャレンジいっぱい 5年1組」に決まった。高学年としての自覚のもと様々なことに挑戦し、5年1組最後の日に「このクラスでよかった」と皆が思える学級をつくっていこうと確認した。学級全体の底上げとして話し合いでも学級目標を意識した発言が見られることを望んでいる。

そのためにもまずは自分の考えに思いを持ち、それを相手に伝える意欲をもたせたい。また自分の意見が言える児童に対しては、伝えて終わりではなく、仲間の思いに共感し考えや意見を生かそうとする姿勢をもたせたいと考えている。それらの姿勢を身につけることでクラスの中で同じ目標をもった児童が、自分達で課題を見つけ、話し合っって何かをつくりあげたり、解決したりする集団活動の過程を大切に、またそれらの活動を通し、人間関係を築き上げていく力を育てていきたい。

議題

今回の議題には、運動会において一人一人がそれぞれの場所や役割の中で心を一つに団結力を強めた経験から、学級でもさらに団結力を強めこれからの学級活動においても様々なことを乗り越えていきたいとの提案者の思いが込められている。ただ勝ち負けを決めるのではなく記録という目標に向かって、団結力を強めるという目的をみんなで達成したいと考えている。

みんなで1つのことに取り組むことでただ自分のやりたいことを言ってもまとまらず、苦手意識のある仲間に寄り添う姿勢を身につけさせたいと考える。また考えがもてない児童もみんなで1つのことをやる時は、より自分の考えをもって話し合いに臨めるのではないと考えたため、本議題を設定した。

学級目標
心を一つに 一歩前進！
元気いっぱいスマイルいっぱいチャレンジいっぱい
5年1組

5. テーマとのかかわり

研究テーマ 伝え合い 認め合い 主体的に取り組む子をめざして

(1) 高学年部会のテーマ

一人一人が意見を述べ 多様な意見のよさを生かし 信頼し支え合う子

(2) テーマに迫るための手立て

一人一人が意見を述べる

○アンケートの実施

話合いの中で児童がめあてを意識ながら臨めるよう、計画委員会がアンケートを作成し、全員が取り組んだ。それを計画委員会が集め、よりめあてにふさわしい内容に整理していった。

多様な意見のよさを生かす

○折り合いのつけ方を体験させる

学級での話合いの活動の場面では、意見が対立したり、意見をまとめるのが困難であったりする場面がある。自分も友達も納得できる話合いをさせるためには、折り合いを付けさせ、最終的な自分や集団の意思決定をさせなければならない。自分の意見ばかりを主張するのではなく、友だちの意見にも耳を傾け、よりよい解決法や解決策を見つけ出していくことは、多様な意見のよさを生かしていくことにつながる。そこで、折り合いへの意識を高めるために、議論の前に「みんなが納得できる話合いを目指そう」という目標を確認する。相手の事を分かってあげようとしたり、お互い本音で話そうとしたり、どちらも満足できる案を考えようとしたり、優先順位をつけたり、交換できるものをさがしたりするなど、計画委員会とフロアーが同じ意識で話合いを進めていくことで合意形成能力を高めていきたい。また、必ずしもみんなが納得できる話合いになるわけではないということも考えさせ、なければ多数決（議論した後の多数決であるから、結果の質が高まり納得できる）、折衷案（一部分あるいは全体を合わせて新しい案にまとめる）、条件付きの賛成案（〇〇ならば賛成という案にまとめる）など、話合いをどのようにまとめていけばよいかを、事前に計画委員会で想定しておく。

信頼し支え合う

○実践に向けた話合い

決まったことは必ず実践できるという考えは子どもたちの中に根づいている。実践を意識した話合いにするため、話し合う前の時点で決まっていることを明確に定める。またある程度の制約を設けることで実践の具体的なイメージをもたせながら話合いに臨むようにする。それにより安心感や決まったことをみんな実践することで学級をよりよくしていくという意識をもたせる。

(3) 学年共通の取り組み

自分の意見を主体的に伝えようとする手立て

○議題の選定と議題化

児童が話合いに主体的に臨むためにも全員に切実で必要感のある議題にしていく。教師の適切な指導のもと、クラスの諸問題に気づくことができるようにし、この議題によってクラスがよりよくなり、学級目標に近づくことを全員で共有する。

(4) テーマに迫るための日常的な活動

朝の特活スキルの活用

○係の活性化

小さな集団合意の経験を通して、多様な意見のよさを生かす。

○学級目標の振り返り

毎月終わりに学級目標の振り返りを行う。具体的な項目の中から達成できたこと、次の月もっと頑張りたいことを記入し、クラス全体が学級目標に向かっていく姿勢を養う。

日常生活の中で信頼関係を築く

○ありがとうカード

子ども同士が仲間のよさを伝え合う場として、「ありがとうカード」に記入している。ちょっとした仲間の気遣いにも感謝の思いを伝えることで、お互いを信頼し支え合う関係を育てていく。

○今日のヒーロー

毎日の帰りの会で仲間の頑張りを紹介し合う「今日のヒーロー」の発表をしている。クラス全員で仲間の頑張りをたたえ合うことでお互いの信頼関係築く力を養う。

6. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し、支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効果的な進め方などについて理解している。

7. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月2日 中休み	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループで議題の確認を行う。 ・司会グループが提案者の思いを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合う議題を確認し、今回話し合わない議題については返事を書くように促す。 ○今回の議題が「クラスをよりよくしたい」というものであることを提案者に確認する。
6月3日 中休み	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会がこれまでの活動を振り返る。 ・話し合いのめあてを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りカードをもとにこれまでの話し合いでよかった点、改善すべき点を考えさせる。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを考えるよう促す。 ☆クラスをよりよくするためのめあてや話し合いの進め方などを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

<p>6月4日 帰りの会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会が議題を全員に発表し、提案への思いも伝える。 ・決まっていることを伝える。 ・全員にアイデアを考えてもらうように声かけをし、アンケートをとり、集める。 	<p>○今回の提案がクラスをよりよくするために必要なことであることを後押しし、話し合いの必要性を確認する。</p> <p>☆めあてに沿ったアイデアを自主的に考えることができる。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>6月5日 昼休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとにどのような考えがあるか確認する。 ・それぞれのアイデアがめあてに沿っているか、実現可能なものか確認しいくつかにしぼる。 	<p>○しぼった中からどの意見がよいか選ぶ。</p>
<p>6月6日 朝の会</p> <p>中休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの中で選ばれた中から自分の意見を書く。 ・お互いの役割、話し合いの流れや進め方を確認する。 ・板書計画の作成をする。 	<p>○選ばれなかったアイデアについても、今回のめあてに少し合わなかっただけであり、それぞれが素晴らしい考えをもっていることを伝える。</p> <p>☆進んで自分の意見をもとうとしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○お互いの役割を確認し、話し合いがどのような流れになるかを予想させながら、話し合いのイメージをもてるよう声かけをする。</p> <p>☆自主的に話し合いに向けた準備をしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
<p>6月9日 中休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書計画をもとにいろいろな場面を想定し、実際にどのように話し合いを進めていけばよいかを考える。 	<p>○これまでの話し合いの経験から、今回の話し合いでどのような場面が想定されるか考えるように促す。</p> <p>☆経験に基づいたより具体的な場面を想定している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>
<p>6月10日 中休み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書計画をもとにいろいろな場面を想定し、実際にどのように話し合いを進めていけばよいかを考える。 	<p>○これまでの話し合いの経験から、今回の話し合いでどのような場面が想定されるか考えるように促す。</p> <p>☆経験に基づいたより具体的な場面を想定している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>

(2) 本時の活動

① ねらい

団結力が高まる内容の集会について話し合い、決定する。

② 活動計画

児童の活動	支援（○）と評価（☆）
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認</p> <p>4. 提案理由の説明</p> <p>5. めあての確認</p> <p>6. 話し合い (決まっていることの確認)</p> <p><議題> 「5年1組 団結集会をしよう」</p> <p>集める</p> <p>きき合う</p> <p>まとめる</p> <p>7. 決まったことの確認</p> <p>8. 振り返り</p> <p>9. 先生のお話</p> <p>10. 終わりの言葉</p>	<p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○進め方などでつまずいた時には、ふせんに書いて助言する。</p> <p>☆自主的に自分の思いを伝えている。 (集団の一員としての関心・意欲・態度)</p> <p>☆仲間の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の方法を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○できるだけ自分たちで決定ができるように見守り、話し合いが行き詰ってしまったときには助言する。</p> <p>○司会グループの頑張っていた点、仲間を意識した意見や態度などを見つけて賞賛する。</p> <p>☆仲間のよいところや自分の話し合いに参加する姿勢を振り返ることができる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

(3) 本時の授業の視点

- ① (テーマに迫るための手立て) 児童一人一人が自信をもって思いを伝えようとしていたか。
- ② (学年共通の取り組み) 仲間の意見を尊重しながら聞こうとしていたか。
- ③ (子どもの姿・その他) 司会グループが話し合いの見通しをもって進めていたか。

(4) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
6月12日 中休み	・計画委員会を中心に役割を確認する。	☆具体的な実践のイメージをもって意見を出している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月13日 学活	・実践する。	○話合いのめあてを意識して取り組むよう声をかける。 ☆話合いのめあてを意識して活動している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月16日 朝の時間	・活動の振り返りをする。	○ここでの意見や考えが次回に活かされるため、具体的に記入するよう声をかける。 ☆自分の活動やみんなの活動について、今後につながる考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(5) 使用するワークシート・アンケート等